

2019年1月配信

第5回 医療と介護の総合展 大阪

通称：メディカル ジャパン 大阪

会期：2019年2月20日 [水]～22日 [金]

会場：インテックス大阪

主催：リード エグジビション ジャパン(株)

特別協力：関西広域連合

共催：日本病院会、日本介護協会、大阪介護老人保健施設協会 他7老健協会

後援：厚生労働省、日本医師会、全日本病院協会、日本医療法人協会など110団体（予定）

初出展250社を加え780社が出展！ 新テーマを加え、さらに魅力を増して開催

1、3つのフェアを新設！出展製品がより多彩に

2019年2月20日（水）より3日間、インテックス大阪にて「第5回 医療と介護の総合展 [大阪]」（通称：メディカル ジャパン [大阪]）を開催いたします。本展は医療と介護を網羅する日本で初めての総合展で「第5回 医療機器・設備 EXPO」「第5回 病院運営支援 EXPO」「第4回 医療 IT EXPO」「第5回 介護&看護 EXPO」「第2回 地域包括ケア EXPO」「第9回 ヘルスケア・医療機器 開発展」の6展で構成されています。今回は、世界25か国から780社が出展。

出展製品は医療分野では国内外の最新医療機器、設備や電子カルテ、画像システムといったIT製品、そして病院運営を支援するコンサルティングや業務支援のサービス、介護分野ではベッドや入浴設備などはもちろん、介護食品、介護ロボット、介護AIや、さらに介護現場で一番の課題となっている人材不足に対応するための様々なソリューションなど。高齢者の生活を支援し、地域包括ケアシステムを推進するための多職種連携 ICTや、見守りシステム、介護レクリエーションなども多数出展します。また医療機器やヘルスケア機器の開発のための様々な技術・部材なども展示されます。

前回の出展企業、来場者からの多数の要望を受けて、今回「**クリニック支援フェア**」「**薬局支援フェア**」「**BCP・災害対策フェア**」を新設します。「クリニック支援フェア」には、新規開業や改装に必要な設備や機器が出展されるほか、「薬局支援フェア」には従来の調剤業務に必要な機器や設備のみならず、開業支援、人材支援サービスのほか、電子薬歴システムなども出展、かかりつけ薬局、地域型の薬局をサポートするフェアとなります。また、厚生労働省が病院に対してBCP（災害などの緊急時の事業継続計画）の策定を要請する中「BCP・災害対策フェア」には非常用の電源や、通信機、備蓄品をはじめ、耐震設備など災害においても医療機関としての機能を守るための様々な製品が出展されます。この3つのフェア新設により出展製品がさらに多彩になり来場者にとっての魅力が増えています。

会場レイアウト図（インテックス大阪）



2、日本初の総合展「メディカル ジャパン」誕生の理由

医療、介護分野を網羅するような展示会が生まれたのは2014年。きっかけは関西広域連合で産業振興を担当する大阪府の松井一郎知事からの発案でした。「関西はライフサイエンスの集積地であり十八番。ヘルスケア、医療、介護までを網羅した展示会を起爆剤とし、関西の産業振興を促進するとともに全国、海外に向けての発信したい」との松井知事からの意向を受け、リード社は「医療と介護の総合展（メディカル ジャパン）」の新設を決断。これは、2015年2月に第1回開催を行う1年半も前のことで、そこから出展社募集や来場者誘致などのあらゆる活動を行いました。その結果、来場者が多数集まり初回からインテックス大阪は大盛況に。日本で初めての医療・介護一体型展示会が関西で誕生したというインパクトは大きく、とくに病院、クリニック、介護事業者の経営者などの間で大きな話題となりました。その後、出展企業、来場者数とも年々増加し、会場には、関西全域はもとより、日本全国さらには海外からも専門家が来場するイベントへと成長しました。

来場者に加え、海外からの出展企業も多いため、こうした海外からの渡航費に加え、飲食費、宿泊費はもちろん、会場費・装飾・マンパワー・出展や来場誘致に関わる費用を含めた関西地方にもたらさせる経済効果は37億3千万円に。本展開催によるインパクトはこれ以上に経済的な面からも大きいといえます。

3、商談金額は200億円！会場で活発に行われる商談

本展の最大の特徴は商談の場であるという点です。前回は、会場では活発な「技術相談・商談」が行われました。出展各社は来場者と会場内で導入に向けた相談、商談を行えるよう、製品や大型装置を展示し、複数の商談用のイスとテーブルを用意。また、技術者が常駐しているブースも多く、技術相談を行いながら、見積・納期の打合せを行うことができるようになっています。商談金額も年々増えています。その要因として来場者数の増加はもちろん、来場者のうち約6割が課長職以上の役職者であるという質の部分に関連しています。このように本展において出展社は会場で受注に繋がる「商談」を行い売上げ増加に、来場者にとっては見たい製品を一度に比較検討、すぐに導入に向けた商談を行える場として活用することができるのです。こうした技術、製品の商談を活性化することで医療・介護分野の発展につながると期待されています。



4、45名が登壇！オープニングセレモニー盛大に開催

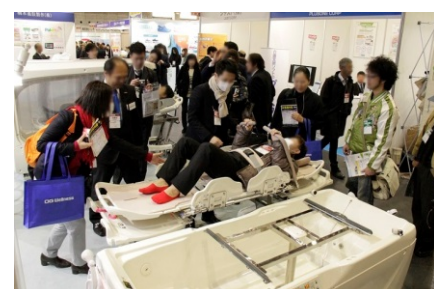
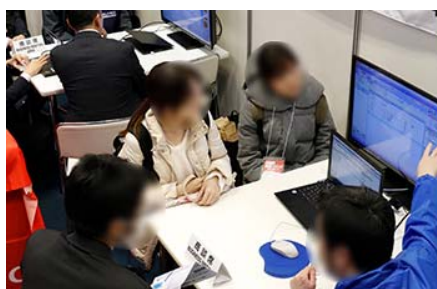
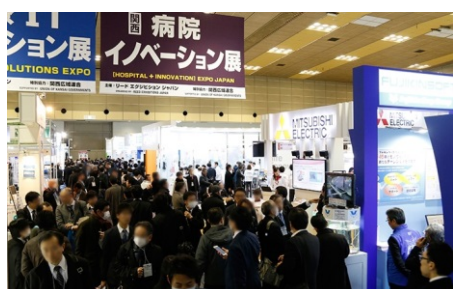
会期初日の20日（水）9：30より医療・介護分野を代表するVIP45名による大テープカットを行います。各界で活躍する第一人者がこれだけ一堂に参列する姿は滅多にないことから、例年会場前には多くの業界関係者が集まります。なお、今回は日本病院会 相澤 孝夫会長、日本介護協会 左 敬真理事長など共催団体のトップをはじめ、関西各府県の病院協会会長や、関西広域連合の代表として松井 一郎大阪府知事も登壇（予定）。日本の医療・介護分野を象徴するセレモニーとなります。注目の参列者一覧は1月中旬WEBにて公開予定。



5、注目のセミナー 全200講演が目白押し

病院、介護の重要課題を網羅した全200講演を3日間開催いたします。「地域医療構想」「診療報酬」「働き方改革」「病院のBCP」「地域包括ケアの行方」など経営幹部に関心の高いセミナーから、「口腔ケア」「栄養管理」「人材マネジメント」「院内システムの更新」「介護ロボットの応用」「医療機器開発事例」などいわゆる現場向けまで充実した内容となります。初日午後に行われる「メディカル ジャパン特別講演」には、本展で初めてとなる財務省幹部による講演が決定。宇波弘貴主計局次長が「社会保障と財政」をテーマに講演、後半には経済産業省・江崎禎英調整官が「超高齢社会への対応」を講演します。本セミナーの注目は高く、すでに病院の理事長、事務長、看護部長からの受講申込みが連日多数寄せられています。本セミナーは医療、介護に関連する最新情報を聴講できる貴重な機会となります。定員次第申込み締め切りとなってしまうため早目のお申込みをお勧めしています。

— 前回会場風景 —



取材事前登録 ※本展には取材事前登録が必要です！

本展への取材をご希望される場合は取材事前登録【https://www.medical-jpn.jp/press_f/】にてご登録いただくか
下記取材申込み書に基本情報をご記入のうえFAXにて【03-3349-4922】ご返信ください。

貴社名：	
所属：	役職：
担当者氏名：	
TEL：	E-mail：
媒体：	

■ ■ 取材事前登録はWEBからも可能です！ >>> https://www.medical-jpn.jp/press_f/ ■ ■

※ 本展の取材は事前登録が必要です。取材事前登録は「報道」「記事掲載」などの取材を目的とした方のみご登録いただいております。ご登録が無い場合や、またご登録いただいても取材目的ではないご来場の場合は当日プレスルームでの受付をお断りする可能性がございます。

本リリースの問合せ先 広報担当：八木 TEL：03-3349-8586 FAX：03-3349-4922
Mail：yaqi@reedexpo.co.jp 展示会HP：> <https://www.medical-jpn.jp/>